

平成29年11月（第14回）光市教育委員会会議の要旨

1 開催日時

平成29年11月27日（月） 午後2時00分～午後4時00分

2 場 所

光市教育委員会 2階会議室

3 出席委員

能美教育長、河村委員、寺崎委員、中西委員、平岡委員

4 事務局

教育委員会事務局：蔵下教育部長、和田学校教育課長、奥屋学校教育課主幹、弘文化・社会教育課長兼人権教育課長、穂山図書館長、清水学校給食センター所長、太田教育総務課長、川村教育総務課管理係長、藤井学校教育課指導係長、大隅学校教育課学務係長、弘中人権教育課人権教育係長、山門文化・社会教育課社会教育係長、村上文化・社会教育課文化振興係長、三好体育課体育係長、前田図書館業務係長、松岡学校給食センター業務係長、影土井教育総務課経理係長

5 教育長報告

- (1) 優秀教員の表彰について
- (2) 市長のまちづくり特別授業について
- (3) 英語スピーチコンテストについて
- (4) 図書館まつりにについて
- (5) ふれあいウォークについて
- (6) 県中学校駅伝について

6 議 事

(1) 議案及び報告

ア 議案第27号 平成30年度予算編成に向けた教育委員会運営方針について

(ア) 概 要

平成30年度予算編成に向けた教育委員会の運営方針について、教育委員会の意見を求めるため、本案を提出。

(イ) 内 容

別冊「平成30年度予算編成に向けた教育委員会運営方針について」より、担当課より説明。

(ウ) 議 決

全員一致で承認される。

※報告第45号及び報告第46号については関連があることから、一括して報告。

- イ 報告第45号 光市学校児童生徒就学援助規則の一部改正について
- 報告第46号 光市学校児童生徒就学援助規則実施規程の一部改正について

(ア) 概 要

光市学校児童生徒就学援助規則及び光市学校児童生徒就学援助規則実施規程の一部改正について、事務局より報告。

(イ) 内 容

就学援助制度に係る「新入学児童生徒学用品費等」を入学前に支給できるよう、入学前の就学予定者を対象に加えるとともに、学齢児童・学齢生徒と就学予定者を併せて「児童生徒等」とするため、必要な規則及び規程の一部を改正するもの。

- ウ 報告第47号 光市立学校の将来の在り方に係る基本構想（案）について

(ア) 概 要

光市立学校の将来の在り方に係る基本構想（案）について、事務局より報告。

(イ) 内 容

概要のとおり。

(ウ) 主な意見や質疑

① 意 見

平成32年度から一斉に小中一貫教育を進めるということか。研修視察した先進市では、モデル校を指定し先行実施する進め方もあったが、そういう進め方はしないのか。

② 回 答

他市等の事例では、まず一部の学校で先行し、そのモデルに基づき他の学校が追随するという方法もある。本市では、これまでにコミュニティ・スクールをすべての学校で進め、その中で、小小連携・小中連携も連携・協働教育として積み重ねてきており、すでに一貫教育と同じ取組みを行っている。そうした強みを活かしていきたいと考えている。

①-(1) 意 見

小中一貫教育について、平成31年度までに教育課程を整え、平成32年度から一斉にスタートしたいという説明であったが、小・中学校の建物はそれぞれ離れている地域もある。そうした中で、施設一体型に移行するまでどの程度の期間を考えているのか。

② 回 答

それぞれの地域でさまざまな課題等もあり、明確な時期等は決まっていない。まずは地域に出向き、教育委員会の考え方を丁寧に説明しながら進めていきたいと考えている。

①-② 意見

先進地の小中一貫校を見たとき、地域全体が活性化しているような雰囲気を受けた。光市は、「おっばい都市宣言」もしている中で、少子化が人口減少の大きな要因でもあるが、人口の流出も大きな課題と思う。早い時期に本市の教育が目指す姿に到達できたら良いと感じている。

① 意見

内容はよく理解できたが、老朽化した施設やトイレ・シャワーなどの整備も合わせて進めていくのか。

② 回答

市内の学校施設はかなり老朽化している。少しでも快適な環境で学校生活を過ごしてもらうため、老朽化したトイレをはじめ、施設のさまざまな不具合については、今後も早期に解消していきたいと考えている。

カ 報告第48号 区域外就学の承認について

(ア) 概要

区域外就学の承認について、事務局より報告。

(イ) 内容

区域外就学の協議及び申請のあった2名を承認したことについて報告するもの。